

## 2020年度 地域連携活動報告書

連携先名称：大分県竹田市

協定締結日：平成30年8月30日

活動状況：継続中

連携先窓口：竹田市役所農政課ブランド推進室

活動資金：大学予算

担当教員（所属）：山田崇裕（国際バイオビジネス学科准教授）

活動体制（単位）：学科

関連教員（所属）：木原高治（国際バイオビジネス学科教授）

大久保研治（国際食農科学科准教授）

活動目的：

包括的な連携のもと地域の産業、環境保全並びに教育・研究の充実のため、産業振興、地域づくり等の分野において相互に協力することを目的とする。

人材育成に関する活動では、「バイオビジネス実地研修（必修科目）」を通じた農大生と地域住民、優良農業経営者、地元高校の教育交流活動を推進する。

活動内容・成果：

本連携活動の要となる「バイオビジネス実地研修（一）」は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出を踏まえ、竹田市と本学科の合意の下、2020年度現地実習は全面的に中止となった。実習を希望した学生8名は、現地実習の代替プログラムとして、リアル配信のリモートによる中山間地域農林業の実態や、竹田市の歴史、農林業、地域特産品、地域社会の特徴に関するプレゼンテーションとディスカッションを行うとともに、竹田市での現地実習を紹介した資料映像を視聴した。

課題・改善点：

2020年度は新型コロナウイルスの感染防止の観点から、学生実習「バイオビジネス実地研修」のみならず、研究活動や人材交流を実施することができなかった。2021年度は、新型コロナウイルスの状況をみながら、本学の感染防止に関する行動指針、学部独自の課外活動のガイドライン、学科独自のバイオビジネス

実地研修の実施要領をベースにしながら、竹田市役所、竹田市観光ツーリズム協会、地域の実習受け入れ農家等と担当教員で、現地実習の実施可能性と実施方法の協議を重ねている。